

平成21年11月26日

全国建設業協会会長会議 浅沼会長挨拶

平成21年度全国会長会議の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様方におかれましては、年末を控え、何かとご多忙の中ご参集いただき、誠にありがとうございます。

さて、わが国経済は、11月の月例経済報告によりますと、『景気は持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況であり、先行きについても、雇用情勢の一層の悪化やデフレなど、景気の下押し要因に留意する必要がある』とされており、景気回復の失速が懸念されるなど、不透明感が大きく広がっている状況です。

そういった中で、10月7日の近畿ブロックを皮切りに10月30日までの1箇月にわたり、全国9箇所において地域懇談会及びブロック会議を開催いたしました。開催に際しましては、各ブロックの理事県・幹事県の会長をはじめ事務局の皆様には多大なご尽力を賜り、誠にありがとうございました。

政権交代の影響を色濃く反映し、従来とやや様相が異なる状況ではございましたが、直面する建設産業の諸課題について、国土交通省と問題意識を共有し、課題解決に向けて取り組むことを確認し、熱心な議論が行われましたことに重ねて御礼申し上げます。

地域懇談会・ブロック会議においては、厳しい経営環境下にある地域建設

業界の窮状を反映し、各ブロックとも、平成21年度の大型補正予算や平成21年度予算の前倒し執行により、ようやく明るい兆しが見えたものの、新政権の打ち出す、今年度の補正予算の執行停止や来年度の公共事業の大幅削減方針等により、地域の経済や建設業に及ぼす影響を危惧する声が数多くありました。

それは、年末、年度末に向けて、自殺・失業・倒産が増加するのではないか、結果、今後地域において建設業が担ってきた、災害時の対応や除雪等の社会貢献活動が維持出来なくなるのではないか、そして、世界に誇るべき建設技術の伝承が出来なくなるのではないか、「荒廃するアメリカ」が日本で起こるのではないか、といった懸念であり、これらは、建設業界だけでなく、地域に住む人々にとっても、決して良い事ではないと思っています。

そういった、建設業界を取り巻く状況を改善するために、政府・与党に期待・要望することとして、3点ほど指摘しておきたいと思います。第一に、わが国経済が確固たる自律回復の道を歩み始めるための即効性のある、具体的な経済対策であります。年明けの通常国会で打ち出されるであろう第2次補正予算の編成には大いに期待するところであります。第二に、国民の安全・安心の確保、わが国の国際競争力の維持・向上、環境問題への対応等、の為の社会資本整備戦略、そして地域の経済・国民にとって、基幹産業であり、災害時の応急・復旧対応や除雪などの社会貢献を担っている建設業の方向性を示した、中長期的視点に立った建設産業政策方針、ビジョンを明示して欲

しい。第三に、真に汗をかき努力をしている企業が正当に評価される公共調達制度の確立等であります。また同時に、これら様々な政策を決定する際には、是非我々現場の意見を幅広く聞いて頂きたいと強く思っております。

我々建設業は地域に密着した基幹産業であり、これまで様々な社会貢献活動を行ってまいりました。しかしながら、国民・社会から、公共事業や建設業界に対し、正しい理解が得られていない状況にあることも事実です。このため我々は、法令遵守はもちろんのこと、社会が求めているニーズに対応すべく、コンプライアンスの徹底と企業の社会的責任への取り組みをより一層強化し、国民からより信頼される業界となるよう、更なる努力が必要であり、また、全建をはじめ47都道府県協会においても、長年に亘りそれぞれの地域で経済活動を行ってきた団体として、地域の活性化のための方策を研究し、主体的に提言を行うなど、これまで以上に汗をかき、努力することも重要だと考えています。

各地のブロック会議の挨拶でも申し上げましたが、全建の組織は、100年近い歴史があり、全建の事業目的の中に「建設業を経済的、社会的及び技術的に向上させ、建設業の健全なる発展を図り、併せて公共の福祉の増進に寄与すること」とあります。これまでの長い歴史の中で、その時代時代における建設業の置かれている立場を鑑みながら、時の政府・与党に対して要望活動や政策評価をしてまいりました。これが全建であり、その位置づけはこれからも全く変わることはありません。この基本方針に則りながら、事業目

的達成のために活動していくことが、我々に課せられた使命だと思っております。

国民の安全・安心な暮らしの確保、日本の国際競争力の維持向上の為の魅力ある都市創り、環境保護や老朽化する社会資本の維持・修復等、社会資本整備の担い手である我々建設業界の果たすべき役割は多岐にわたり、極めて重要なものであります。国民・社会からの信頼に応えるため、今後とも各都道府県協会と力を合わせ、これまで以上に事業活動を積極的に推進してまいり所存であります。何卒、会長各位の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりにあたり、各都道府県協会の益々のご発展とご参会の皆様のご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

以 上